

■米国：ニューヨーク州、電力系統近代化に1,500万ドル支出

ニューヨーク州のアンドリュー・クオモ州知事は2019年7月11日、電力系統の近代化プロジェクトに1,500万ドルを支出することを発表した。同州の送配電系統に、再エネ電源を統合する際に生じる技術的課題を解決することが目的である。同州では、電源を2040年までに100%クリーンエネルギー由来とする法案（Climate Leadership and Community Protection Act）が2019年6月に成立しており、今回はその取り組みの一環である。資金提供は2019年前半と後半の2回に分けて行われ、前半はニューヨーク市の電力会社コンソリデーテッド・エジソン社（Con Edison社）とパートナーを組む、分散型電源関連プロジェクト（モニタリング、データ分析、先進的予測）等が対象となる。